AIAI CHILD CARE 株式会社

〒130-0013 東京都墨田区錦糸一丁目２番１号 アルカセントラル16F
TEL：03-6284-1607　FAX：03-6284-1608

2024年07月発行

AIAI PLUS

Curriculum Guide

AIAI Child Care の

療育理念

全ての子どもが楽しく過ごせる社会をつくる

AIAI Child Care だから

できること

AIAI Child Careは、千葉、東京、神奈川、大阪で87ヵ所の認可保育所“AIAI NURSERY”を運営しています。(2024年4月時点)

毎年5,000人の子どもたちの成長を、1,500人以上の保育士が見守っています。

多くの子どもたちの成長を見守ってきたノウハウを生かし、学習環境と運動環境が充実した中で、お子さまの成長を支えます。

当社は、2007年にAIAI NURSERYを千葉県に開設して以来
千葉、東京、大阪を中心に認可保育園を開設してまいりました。

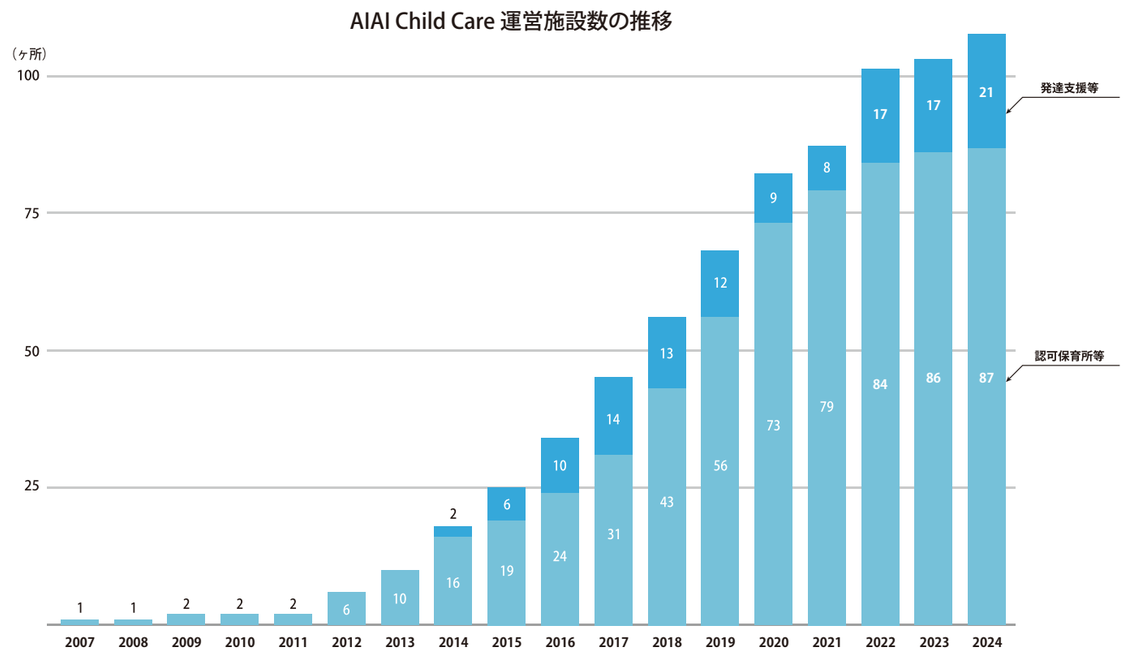
保育園は0歳から入園する子どもも多く
小学校に就学するまでの6年間で大きく成長します。

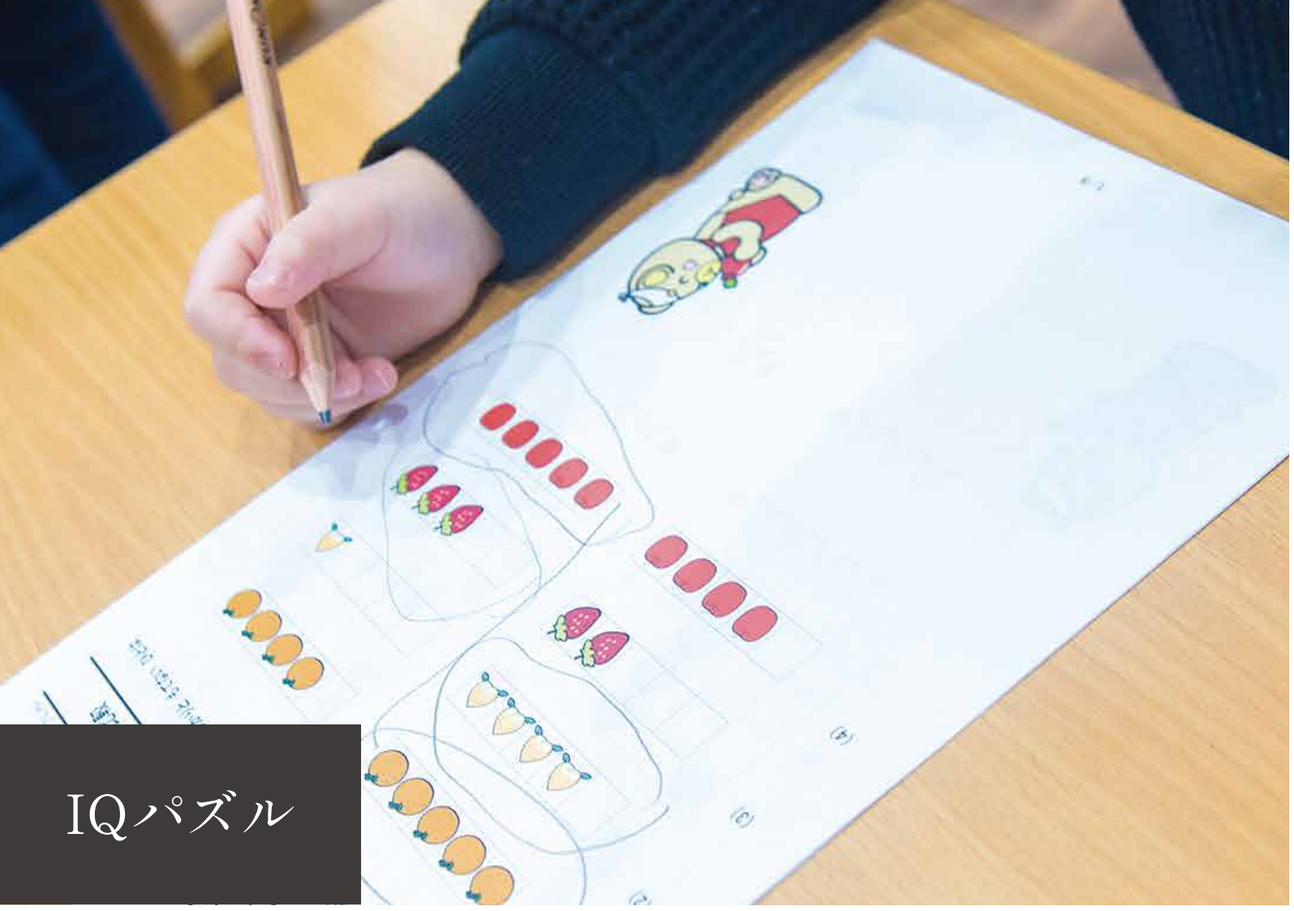
保育園や幼稚園には集団生活があり
子どもたちは集団生活を通して、共同性と自発性を育みます。

就学前までに2回の乳幼児健康診査がありますが
保育士は18ヶ月検診の前から子どものたちの発達を記録していますので
集団生活の中における子どもたちの発達について、早い段階で気付くことができます。

私たちは個別の環境を必要とする子どものために
「AIAI PLUS」を開設しました。

児童発達支援事業と保育所等訪問支援の多機能型施設である「AIAI PLUS」は
丁寧なアセスメントとカンファレンスを通して複数の職員の意見を集約した上で
個別最適化された療育を提案いたします。





IQパズル

発達障害と学習

自閉症スペクトラム（ＡＳＤ）

・コミュニケーションの困難さ
・限定された行動・拘り
・過敏性や鈍感性など

アスペルガー症候群

・発達、言葉の遅れはない
・コミュニケーションの困難さ
・パターン化した行動
・興味、関心の偏り

学習障害（ＬＤ）

・聞く、話す、書く、計算、
推論する能力に困難が生じる

注意欠如・多動性（ＡＤＨＤ）

・集中力がない
・多動・衝動性

得意不得意の特性と、環境や周囲の関わりのミスマッチから社会生活に困難が生じる。

学習面でもともと持っている力を発揮できない原因

他者とのコミュニケーションが上手く取れないことや、
疑問が生じても自ら発信することができない。

▼

本来持っている能力を発揮できない。

▼

学習習熟度が伸び悩む

IQパズルとは何か

IQパズルは学習の土台となる理解（わかる）と習熟（できる）を身につけます。
IQパズルは見えない学力を育てることができます。

学力			
見える学力	知識分野	教えてもらう 暗記する	【見える学力とは】 テストなどで測ることが できる知識や技術
見えない力	感覚分野	自分で気づかせる 有用な習慣を身に付ける	【見えない学力とは】 保育所保育指針にもある 思考力を育む考える習慣と粘り強さ

見えない学力の育て方

・見えない学力3要素は相互に影響します
・3つの要素を育成することで、
総合的な算数能力が向上、
特に思考力の向上は粘り強さも育てます

AIAI PLUSでは、IQパズルを支援計画によって個別最適化した指導を行うことで

①定型発達の部分を伸ばします。
②二次的障害を最小限に抑え潜在能力を引き出します。
③自ら考える習慣を身に付けます。

IQパズルの進め方

**何を得意とし、何に興味を持っているのかを探り
子どもが『できる』楽しさを知る。**

・微細運動・プラステン（模倣・色+数（同じ）（違い））
・紐通し（色・模倣）・円柱差し・プットイン・積木等

得意とする分野から取り組む

・『簡単に解ける』であろう級の課題を選ぶ。
・解いている状況をみて『級を上げるか下げるか』
・『実施しない方が良い分野があるか否か』の見極め
・得意な分野を見つけて伸ばす
・級を下げて振り返る。

数
図形
思考力

**2次的な作用としての学校での学習に必要な
SSTの要素も含んで行う**

個別学習の中で支援者とのやり取り、「挨拶」「聞く」「待つ」
「ルールを守る」「一緒にルールを決める」ことを学習する

IQパズルの小学校教育における効果

見えない学力が
見える学力の土台となる

「理解（わかる）」から「習熟（できる）」を
通じて「わかりなおす」ことで
概念的知識の再構成を行う

幼児期の日常生活の中で、見えない学力を
身につけることにより問題の違いにあわせて
自身で解決する作戦を考え、解決の仕方を変えながら
柔軟な問題解決をすることができる。

職員の気づき

家庭でも「学習したい」と意欲的に教材に取り組むようになってきた
「できないであろう」という大人の固定観念を取り払い得意とする能力を発見できる
「できた」「わかる」ことで自信がつき、自ら考えようとする姿勢が育まれ、思考の幅が広がっている
普段の生活の中では気づけない能力がわかる
得意・不得意がわかり課題が見える

実例　6歳男児A君　ＩＱパズル5級

障害名：精神発達遅滞・自閉症スペクトラム傾向

普段の生活での困りごと	動きが多い、注意が分散しやすい。好きなことは集中する。
予測される学習上の課題	授業に集中できない、集団での授業では学習効果を得ることが難しい。学習妨害の可能性あり
IQパズルの効果	特性に合わせた指導を行うことで、潜在的に持っている能力を発揮することができた。

実例　6歳男児B君　ＩＱパズル7級

障害名：軽度精神発達遅滞・自閉症スペクトラム

普段の生活での困りごと	自信がないことには取り組めない。自分の気持ちを表現することが上手くできない。
予測される学習上の課題	集団の中で、わからないことを聞けずに周りを遮断してしまう。苦手科目の拒否。
IQパズルの効果	できることから自信をつけることにより、苦手な学習にも取り組む意欲が高まった。

VOICE　保護者の声（Iさん）

**「最初は泣いてばかりでしたが、
今は今日あったことなどを嬉しそうに話すようになりました。」**

「箸は上手ではなく、バッテン箸になってしまうけど掬うことができるようになってきました。」

「得意なところがあることがわかり、姉と共に勉強で切磋琢磨しています。」

**「かんしゃくを起こしたときには抑えられないが、
かんしゃくを起こすことは減ってきました。」**

専門家の声

持続的注意機能、選択的注意機能が未発達なため、本来持っていた数的概念及び立体認知、ワーキングメモリーを発揮できずにいたと思われます。IQパズルを集中できる環境で提供したことによって潜在能力が引き出され、学習の理解が進み自信を得ることができたのではないでしょうか。

粗大運動プログラム

うちの子・・・

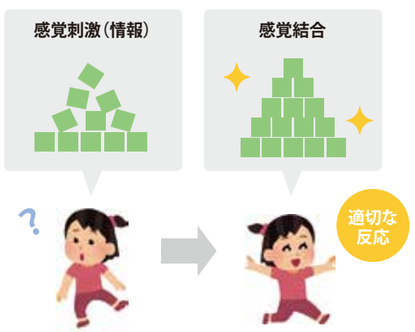
- 歩き方がぎこちない
- 両足を揃えて ジャンプができない
- 座っていられない（保持ができない）
- すぐ転んでしまう
- すぐ疲れる
- はさみがうまく使えない
- すぐに止まれない
- ブランコが漕げない
- ボールがうまく投げられない

など

それは感覚統合が うまくできていないのかもしれません。

感覚統合がうまくいかないと・・・

感覚統合とは



感覚統合とは、脳に流れ込んでくるさまざまな感覚刺激（情報）を交通整理する脳の働きの事を言います。
感覚情報の交通整理ができる脳は、入ってきた刺激（情報）に対して、適切な反応をすることができます。

自覚しやすい感覚

- **視覚**　目で見たものを脳で処理して感じる。（文字、色、空間、奥行など。）
- **聴覚**　耳で聞いたものを脳で処理して感じる。（声、音など）
- **味覚**　舌を通じて得て脳で処理して感じる。（味わい）
- **嗅覚**　鼻を通じて得て脳で処理して感じる。（におい）

無自覚に使っている感覚

- **触覚**　皮膚を通じて得て脳で処理して感じる。（自分から触られるもの、外から触られるものなど）
- **固有覚**　力の入れ加減や関節の動きの感覚
- **平衡感覚**　いわゆるバランス感覚

感覚が統合するには

第１段階

姿勢を保つ・バランスがとれる

第２段階

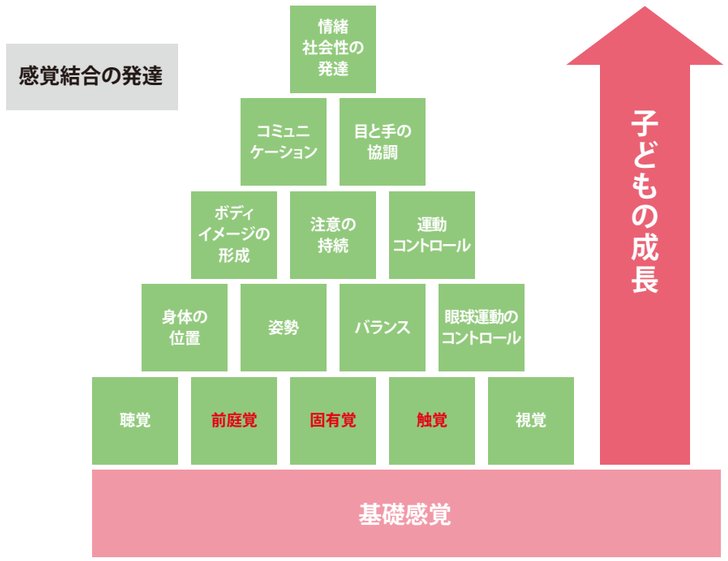
自分の体をイメージする
運動コントロールの基礎

第３段階

目で見たところに正確に手指がいく
形や音を区別できる

第４段階

学習や行動の達成社会性の構築



AIAI PLUSの運動プログラム

全40種目とスケジュール

鉄棒	平均台	マット運動	とび箱・他
1 ぶらさがり（木の棒・鉄棒）	16 平均台（初級）	21 たかばい	29 よじのぼる・たつ・おりる
2 よじのぼり	17 平均台（上級）	22 くもあるき	30 かいだんかえるとび
3 まるやき	18 またがってすすむ	23 ておしぐるま	31 とびばこ（開脚とび）
4 だんごむしぶらさがり	19 またがりとび	24 とうりつぐるま	32 トランポリン
5 ぶらさがってゆれる	20 かえるとび	25 やきいもごろごろ	33 ゴムではばとび
6 ぶらさがって横移動		26 えんぴつぐるぐる	34 グーパージャンプ
7 あしをつけてぶらさがり		27 あざらしあるき（上肢歩行）	35 トンネル（はう・くぐる）
8 こうもり		28 でんぐりがえり（前転）	36 ぞうきんがけ
9 あしぬきまわり			37 ローラーおし
10 すずめ・つばめ（鉄棒）			38 しゃがみあるき
11 すずめ・つばめ（木の棒）			39 タオルロデオ
12 ふとんほし			40 ちょんぎったなわとび
13 まえまわり			
14 せなかさかあがり			
15 かべさかあがり			

プログラムの進行

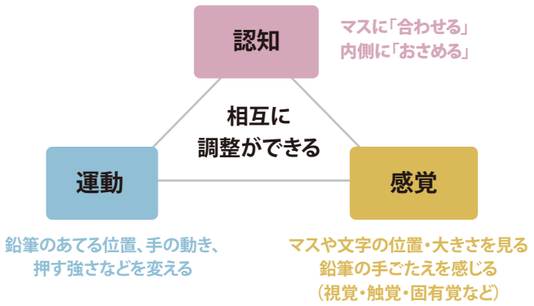
微細運動プログラム

「できる!!」をプラス!

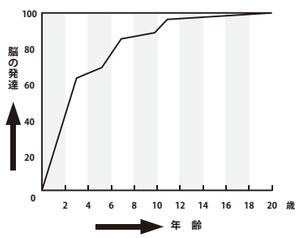
字を書く、
箸を使う等、
道具の操作に
困難がある

「感覚」・「認知」・手先の「運動」の
各機能がうまく調整でき、
書く等の行為が、
ひとつの「作業」として
うまく成立できるように支援します

具体例:「マスに合わせて文字を書く」という作業の構成



運動の発達には流れがある



A 姿勢のコントロールは頭から足へ進む　〈例〉首→腰→足

B 手足の運動は身体の中心から末梢へ進む　〈例〉肩→腕→手

C 発達は一定の順序で連続的に進む(順番をとばして運動は発達しない)
〈例〉定頸→寝返り→座位→這う→つかまり立ち→歩く

D 粗大運動から微細運動に進む
〈例〉まとまりのある簡単な運動→分離した複雑な運動

＊手の発達・・・手の平は下向きから上向きに進む、小指側から親指側へ進む

感覚・運動へのアプローチ

手の操作から道具の操作へ

運動プログラムで腕や手全体を養う

母指対向〜尖指対向操作をカバー

個別学習で手先を養う

VOICE　保護者の声(Yさん)

「公園に行き、遊具で遊べるようになってきました。」

「走ることができるようになってきました。」

「体を動かして遊ぶようになってきました。」

「言葉が増えてきました。」

「これまで手で食べていたが今は上手にフォーク等を使い食べるようになりました。」

「発声が良くなり聞き取りやすくなってきました。」

「靴下も早くはけるようになりました。」

専門家の声

微細運動の手の運動面の効果は手が動くようになり、食事動作や更衣動作、巧緻動作の向上に帰結します。また、認知面の効果には形や色の認識の向上があり、トイレの認識や食事をきれいに食べるための食器の認知につながっています。

微細運動プログラムによる手指の機能脳向上と、捜査する手を見ることによって向上した認知機能が、周囲を見渡す力を向上させ、周囲と同じことができるようになったのでしょう。このことは自己効力感を高め、自信をもって人と関わることができるようになったのではないでしょうか。

Break it Kids

Break it Kidsについて

特別支援を必要とする子どもたちや微細・粗大運動、注意力の欠如、感覚処理障害を持つ子どもたちと関わった経験を持つアメリカの作業療法士が考案した運動科学に基づいた幼児向けの運動プログラムです。
Break it Kidsは、子どもたちが映像を通して壮大な冒険を体験し、さまざまな問題をクリアしていくプログラムであり、子どもたちの自己調整をサポートします。
3つのステップで構成されたプログラムを通して、脳と身体の感覚を活性化して、子どもたちが最高のパフォーマンスを発揮できるように工夫されています。
担当の指導員が子どもたちと一緒に身体を動かしながら取り組みます。

Break it Kidsの構成

3ステップの構造化されたアプローチ

脳と身体を効果的に整えるために、3つのステップに分かれたアプローチを採用しています。子どもたちを飽きさせないために、インタラクティブなアニメーションを使用。子どもたちがアクティブな時間を過ごすことができるよう工夫を凝らしています。

FOCUS IT!

3〜4種類の運動を通して、心拍数を上げ、主要筋群と脳への血流量を増加させます。

FIRE IT UP!

運動神経とバランスとタイミングを整える3つの運動を通して集中力を高めます。

COOL IT!

身体の奥に深く力をかけた動きや集中した深呼吸などにより、心を落ち着かせます。

Break it Kidsの効果の理由

感覚統合療法

Break it Kidsは、感覚統合に基づいた運動です。感覚統合とは、生活の中で感覚器官を通じて身体に入ってくる複数の感覚（五感・固有受容覚：前庭覚など。を正しく分類・整理し、取り入れる脳の機能です。感覚統合療法とは、自閉症を含めた発達障害のある子どもたちへのリハビリテーションの一つとして開発されましたが、発達に個人差が大きい未就学児にも効果的です。特に前庭系・体性感覚系（固有受容覚、触覚）での感覚情報処理が重視されています。

音楽

心拍数を上げるために、流れる音楽のスピードは、アクティブに身体を動かすステージでは140~160bpm、神経系を落ち着かせるリラックス運動60bpmに設定されています。

先生からのコメント

子どもたちが夢中になって参加することができました。ステージ毎に動きが異なり、身体の使い方も上手になりました。

子どもからのコメント

いろんな探検ができて楽しいです。
もっといろんなステージに行って遊びたいです。

運動プログラム　種目ごとの目的と段階付け例

1　ぶらさがり（木の棒・鉄棒）

① 握る・つかむ	② 浮く感覚	③ 補助が減る	④ 自分でできる	⑤ アレンジ
指導員 両手を包むように補助。 「1、2、3……」と数える。 **児童** １０秒間「握り続ける」 という行為ができる。 **補助具** ぶらさがるだけなら、 吊り輪を使ってもよい。	**指導員** 足や腰を補助して、 体を浮かせる。 棒の場合は、棒のほうを 挙げる。 **児童** ３秒程度「ぶらさがる」 という行為ができる。	**指導員** 補助する力を緩め、 児童主体で取り組ませる。 数字を数える。 **児童** ５秒程度「ぶらさがる」。	**指導員** 補助しないが、不測の 落下に常に備える。 数字を数える **児童** 10秒程度「ぶらさがる」。	「ぶらさがって揺れる」 「よじのぼり」等へ移行したり、 前方にキックする等の 動きを加えたり、より高度な 種目「だんごむしぶらさがり」 に移行する。 **注意** 揺れる場合や、回る場合は、 吊り輪を使うと抜ける場合が あるので、吊り輪は使わない。

16～17　平均台（初級・上級）

① 手をつないで歩く 壁伝いに歩く（初級）	② すりあし 自分で歩く（初級）	③ 視線を挙げ、両腕を 伸ばして歩く横歩き （初級→上級）	④ かに歩き・蹲踞歩き 後ろ歩き・高這い（上級）	⑤ 小指をふちにかけて歩く
指導員の手や、どこかに 手をついた状態で前に 向って歩きます。 落ちずに端から端まで 歩くことができると 合格です。	昇り降りのときは手を ついてもかまいませんが、 歩行中はどこにも手を つかずに、自分で「ただ 歩いている」という 状態です。 すり足でもかまいませんが、 障害物を置くなどして、 なるべく足を挙げて 歩くようにします。	運動選手のように、 まっすぐと前を見て、 両手腕もピンと真横に 伸ばして歩く状態です。 横歩きのときは、「グー パー」のリズムで、足の 開閉のリズムをきちんと つけましょう。	前に歩く以外の歩き方です。 かに歩きでは、両手を きちんとチョキにしましょう。 視線は足元を見ないことが 理想的です。	④まで足元を見ずに全て できるようになったら、 足の小指が平均台のふちに かかるように歩いてみましょう。 正しい歩き方になります。

チェックポイント

1 **棒を握ることができるか**	触覚過敏がある場合には素材を工夫。握っている手の形に着目する。
2 **握り続けることができるか**	棒遊び等を利用し、棒を握り続けることが可能か。
3 **負荷に応じて力を入れることができるか**	棒の引っ張り合いなどで「手」と「上肢」に必要に応じた筋収縮を発生させることができるかを確認
4 **体重を支えることができるか**	負荷量を徐々に増やし、全体重が負荷できるか

PLUSフォーラム

PLUSフォーラムとは

AIAI PLUSをご利用いただく保護者同士が、他の親と出会い、ご自身の子育ての悩みを語ったり、
具体的な関わり方や環境調整の工夫を学んだりする場を、私たちは「フォーラム」と呼んでいます。

目的

子どもにとって最も身近な環境は家庭です。家庭のなかで、親は子どもの成長発達に大きな影響を与えます。特徴への気づき、支援の開始
就学の相談、学校生活への適応と、子どもの環境が成長とともに変わっていくなかで、親自身が同じような悩みを持つ方と語らい、
新たな視点を得ることで、常に子どもへ最適な関りが出来ることを目的としています。

ルール

フォーラムに出席する保護者同士は、それぞれ心を開いて様々なことを共有し、話し合える「仲間」です。
良い仲間と安心できる雰囲気を作るために、PLUSフォーラムにはいくつかの大切なルールを定めています。

- **出席者は３～４人程度で、毎回同じ方が集まります。**
- **フォーラムで聞いたことは他言してはいけません。一方で、人に聞かれたくないことは話さないようにします。**
- **1か月くらいの間に身の回りで起きた出来事を挙げて、その経験を体験談として共有します。それに対し他の方は「～すべき」「～してみたら」「～できていたのでは」といった相手への助言はしないようにします。あくまでも、「私も同じような経験があった」「私はこういう経験をした」という自分の経験や体験のみを話します。**

期待する効果

他人と共有するのが難しい気持ちを、内に閉じ込めるのではなく、人と共有し解放することで、気持ちが楽になります。

また「皆、同じようなことで悩んでいるんだな」ということに気づき、孤独感が無くなります。

PLUSフォーラムでは助言を禁止していますので、「こうしなければ」と強制されることはありません。
一方、新たな視点を得ることで「こうしてみようかな」と、日々の生活やお子さんに対する関りが能動的に変化します。

※参加は自由です。また、AIAI PLUSのスタッフがファシリテーターとなり、それぞれのお話がより深まるような工夫や資料の提供をいたします。

VOICE　保護者の声（Aさん）

「この1年随分成長しています。」

「落ち着いてきました。」

「座っている姿が良くなっている感じがします。」

「ボールを転がすだけなど自分の世界で生きている感じでしたが、できることで楽しむようになりました。」

専門家の声

認知機能の向上と体幹の安定によって物事の見通しが理解できるようになったと思われます。
このことが情緒を安定させ成長につながっているのではないでしょうか。

VOICE　（参加者アンケートより）

「子どもに発達障害があることが分かり、自分で勉強すればするほど子どもの将来が不安になっていましたが、皆さんが「子どもの個性」として前向きに捉えていることを知り、何だか救われた気がしました。」

「AIAI PLUSに行くようになってから、色々なものに興味を持ってくれるようになったのがとても嬉しかったので、この気持ちを共有できて良かったです。」

「他の皆さんも不安や悩みがある中で色々な工夫をされている事が分かり、自分も頑張ろうと思いました。」

AIAI PLUS のサービス

児童発達支援事業

おおむね2歳前後から小学校入学までのお子さまを支援します。

保育所等訪問支援事業

普段お通いになっている保育園、幼稚園、小学校等へ職員がお伺いし、直接支援（観察やプログラムの実施）及び間接支援(訪問先の職員との相談及び助言)を行います。
普段の生活場面でのプログラム実施は、潜在能力を再認識し、社会生活へ反映させることに役立ちます。

AIAI PLUS ご利用までの流れ

1　お問い合わせ

お電話等でお気軽に各事業所にお問い合わせください。

2　ご見学

実際の施設、プログラムをご覧いただきます。

3　ご契約

・受給者証をお持ちでない方は、受給者証の申請を行っていただきます。
・支援内容について方針を相談します。
・具体的な利用日程について、お決めいただきます。

4　アセスメント

普段の生活で気になっていることや発達の状況などから、必要な支援内容を暫定的に決定します。

5　利用開始

・利用開始後、3月に1回面談を行い、支援状況の確認や方針、支援内容を検討します。
・お休みになるときには2営業日前までにお知らせください。
・ご利用日以外でも、ご利用いただける場合があります。
・詳しくは施設職員までご相談ください。

AIAI PLUS 見学の流れ

（60～90分程度）

①	②	③	④	⑤
お子さまについて、気になっていることなどをお伺いします	施設紹介及びプログラムの説明	学習プログラム見学	運動プログラム見学	プログラムやご利用に関するご質問アンケートへのご記入など
約20分	**約10分**	**約10分**（体験の場合は20～30分）	**約10分**（体験の場合は15～20分）	**約10分**

AIAI PLUS 概要

プログラム実施時間	**各施設によって異なります。詳しくはスタッフまでお問い合わせください。**
定　員	**1日10人**

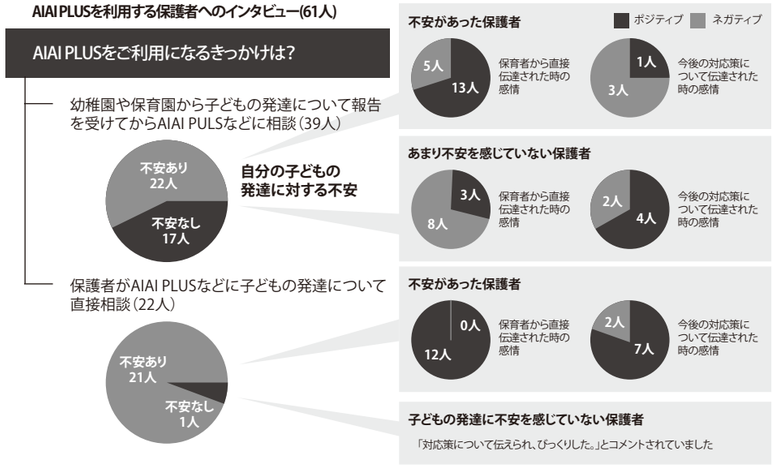
ご利用日、時間については発達の状態や生活上のお困りごとによって異なります。詳しくはスタッフまでお問い合わせください。

ご利用料金	**■児童発達支援** **0-3歳までは一部負担、3歳から無料。※詳細はスタッフまでお問い合わせください。** **■保育所等訪問支援** **一部自己負担がございます。**

児童発達支援事業の対象：小学校入学までのお子さまが利用します。
保育所等訪問支援事業の対象：保育所や幼稚園、小学校などの集団生活の場に通所（通園・通学）しているお子さまが利用します。

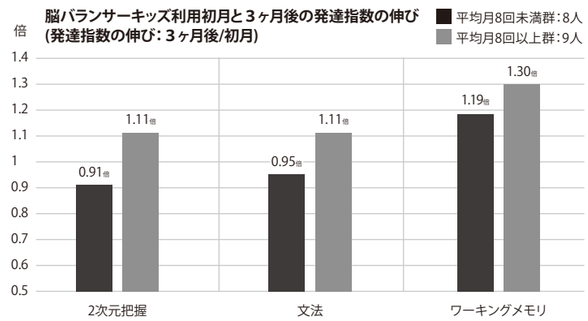
AIAI PLUSでは様々な視点から お子さまと保護者にプログラムを提供しています

AIAI PLUSではお子さまにとって適切なプログラムを提供するために様々な視点から内容や方法について検討しています。



AIAI PLUSをご利用になっている保護者に、ご利用までの経緯を伺いました。ご回答いただいた保護者61人のうち普段利用する幼稚園や保育園の保育者に子どもの発達について報告を受けてからAIAI　PLUSなどを利用したのは39人でした。この39人うち、お子さまの発達に何らかの不安があった保護者は22人で、お子さまの発達について直接的に伝えられた方がポジティブにとらえる傾向がみられました。保護者の中には「やはりと思った」、「育てるのが難しすぎる原因がわかり、少し楽になった」とお話される方もいました。
一方、お子さまの発達にあまり不安を感じていなかった保護者は17人で、保育者から今後の対応策を伝えられた方がポジティブにとらえる傾向がありました。
また、保護者自らAIAI PLUSなどにご相談された22人は普段利用している幼稚園や保育園からお子さまの発達について直接的に伝えた方がポジティブにとらえる傾向がありました。

AIAI PLUSをご利用いただいているお子さまの成長



学習と運動は相互に関連して発達します

形を認識する「2次元把握」、言葉を理解する「文法」、物事を理解する「ワーキングメモリ」は、学習や運動の発達に必要な機能です。そこで、AIAI　PLUSを3か月以上利用している3歳児17人について3か月間の変化を調査しました。すると「2次元把握」、「文法」、「ワーキングメモリ」すべてで月平均8回以上利用するお子さまに発達指数が向上しやすい傾向がありました。また、2次元把握が向上したお子さまの保護者からは「最近絵を描くようになりました」、「文字を書くことに興味を持つようになりました」といったコメントがありました。
このように、2次元把握が向上すると微細運動も向上しやすくなります。その結果自分の思った通りに描くことができるので、楽しんで絵や文字を描くようになります。

プログラムの質を向上させるビデオカンファレンス

AIAI PLUSの職員はビデオ・カンファレンスでプログラムの質を高めています。ビデオ・カンファレンスは文字や写真よりも多くの情報があるため省察が充実します。また、動画は2回以上繰り返し視聴しています。1回では気が付かないことも繰り返し見ることで多くの気づきを得ることができます。
ビデオ・カンフ ァレンスを経験した職員は、① 子どもの活動に適切に反応することができるようになったことで、子どもへの関わり方が向上した、② 他のスタッフの経験を取り入れることで、どのような子どもに対しても、正しい方法でプログラムを提供することができる、③　子どものプログラムへの取り組みをよく見ることで、スタッフの子どもへのフィードバックが具体的になり、子どもの達成感を最大化できる 、という学びを得ています。

施設一覧

AIAI PLUS 北小岩	東京都江戸川区北小岩6-11-4 1F	03-6657-8732
AIAI PLUS 麹町	東京都千代田区麹町3-2-12 2F	03-6265-4823
AIAI PLUS 千葉ニュータウン中央	千葉県印西市中央南1-13 1F	043-208-7286
AIAI PLUS 新柏	千葉県柏市豊住1-3-27	04-7190-5972
AIAI PLUS 今井	千葉県千葉市中央区今井1-17-4	043-208-7286
AIAI PLUS 花見川	千葉県千葉市花見川区作新台4-1-5 (AOKI千葉花見川店敷地内)	043-441-3670
AIAI PLUS 土気駅南口	千葉県千葉市緑区あすみが丘1-19-2 4F	043-497-2983
AIAI PLUS 稲毛海岸駅南口	千葉県千葉市美浜区高洲3-10-1 4F	043-441-7867
AIAI PLUS 稲毛駅東口	千葉県千葉市稲毛区小仲台2-2-2 4F	043-305-5431
AIAI PLUS 南流山	千葉県流山市木3-12-1	04-7199-3416
AIAI PLUS 船橋駅北口	千葉県船橋市本町7-5-14 3F	047-406-5815
AIAI PLUS 四街道めいわ	千葉県四街道市めいわ4-3-26	043-235-7437
AIAI PLUS 村上駅前	千葉県八千代市村上南1丁目5-28 1号室	047-489-1406
AIAI PLUS 八千代緑が丘	千葉県八千代市大和田新田982-1	047-489-5424
AIAI PLUS 八千代台駅西口	千葉県八千代市八千代台西1-1-3 4F	047-406-4348
AIAI PLUS 八千代ゆりのき台四丁目	千葉県八千代市ゆりのき台4-1-12 1F	047-456-8185
AIAI PLUS 八千代緑が丘駅	千葉県八千代市緑が丘1-1104-3	047-409-4782
AIAI PLUS 新百合ヶ丘	神奈川県川崎市麻生区万福寺3-12-7	044-455-4135
AIAI PLUS 高殿	大阪府大阪市旭区高殿3-3-13	06-6958-3605
AIAI PLUS 鴫野	大阪府大阪市城東区鴫野西4-1-24	06-6167-6205
AIAI PLUS 阿波座	大阪府大阪市西区京町堀3-4-20 1F	06-6676-8750